

小樽市総合防災訓練の冬季実施について

1 目的等

大規模災害に対する各関係機関相互の協力体制の強化と防災技術の向上、市民の防災意識・知識を高めるため、令和7年度は、本市として初めて災害想定を「厳冬期における大規模地震及び津波浸水等被害の発生」とし、対応局面を発災直後（フェーズ1）と発災後24時間経過以降（フェーズ2）に区分して、災害対策本部と実動訓練会場及び避難所開設・運営訓練会場との情報伝達・共有、並びに対応要領を確認する訓練を行う。

この際、「令和6年能登半島地震」の教訓及び昨年6月公表の「北海道日本海沿岸の地震・津波被害想定の見直し」、更に昨年7月末の「カムチャツカ半島東方沖を震源とする地震」に伴う津波警報等の発表への対応を踏まえて、本市の即応体制向上に資する訓練を行う。

2 訓練内容（主催）及び日時等

- (1) 災害対策本部訓練、実動訓練、避難所開設運営訓練（主催：市防災会議）
- (2) 令和8年1月14日（水）～15日（木）13:00～16:30（15日予備日）

3 場 所

- | | |
|----------------|----------------------|
| (1) 災害対策本部訓練 | 消防庁舎6階講堂 |
| (2) 実動訓練 | 勝納ふ頭（一部市民消防防災研修センター） |
| (3) 避難所開設・運営訓練 | 市民消防防災研修センター |

4 今後の予定

- (1) 1月7日（水）10:30～、報道機関に対する事前レクチャーを予定
- (2) 天候不良等の場合、当日の10:00頃までを目途に、15日（木）の予備日に延期するかどうかを判断